



2019・12・11

第 359 号

101-0065 東京都千代田区  
西神田 2-5-7 神田中央ビル 303

TEL 03-3221-5075

FAX 03-3221-5076

## 粘り強い取り組みで、安倍退陣を必ず

### 共同行動の積重ねで広がる反響

【岡山県高梁市／高梁9条の会】 高梁9条の会は12月1日、市内の近似稲荷神社霜月大祭の会場周辺で、安倍9条改憲NO！3000万人統一署名を訴える共同行動に取り組みました。この行動は毎月行っているもので今回で163回目。

行動には、時光重孝、井上寛代表世話人をはじめ、会員9人が参加。参拝者に「これが赤紙です」のチラシを配りながら「戦争放棄を定めた憲法9条を守りましょう」と元気に署名を訴えました。約1時間で68人から署名が寄せられ、これで会に託された署名累計は13,075人で、目標（有権者の過半数）の93%に達しています。

参拝者は、会員の呼びかけに「9条は絶対に変えちゃあいけない」「子や孫たちが戦争に行くようになったらいけませんから」などと足を止めて署名をしていました。

また「憲法について習ったばかりです」と明るく署名する中学生、「9条には何が書いてあるの」と尋ね、会員の説明に納得して署名する青年、「夫への召集令状を2度と見たくない」と語る90代の女性など、それ

### 安倍首相「任期中改憲」の姿勢強調

臨時国会が閉会した9日、安倍首相はあらためて「任期中の改憲」を口にしました。「桜を見る会」などをめぐって政局が混迷しているなかでも、その執念を絶やさない安倍首相の成算はどこにあるのでしょうか。

その安倍首相の信任を得て改憲推進本部「遊説組織委員会」委員長に就任した古屋圭司衆院議員（日本会議国会議員懇談会会長）は11月28日、同委員会で、「自民党の組織や各県連との連携はもとより、各選挙区支部、地方議会や友好団体とも連携して全国で『同時多発的』に憲法に関する集会をすすめる」とし、「決して大きな集会ではなく数十人単位で進めていく」「すでに全国で178会場で憲法関連の集会が開催され、年内に86会場で予定されている」と述べ、「この委員会が衆参憲法審査会で議論を進めざるをえない世論形成の重要な役割を果たしていく」と語りました。

それぞれの思いが詰まった署名が託されました。行動後、会員からは「多くの人に気持ちよく署名してもらって元気が出た」「若い人の

反応がいまひとつ、これからも共同行動の継続が大切だ」など感想がありました。

次回は2020年1月12日、高梁市成人式会場前で新成人へのお祝いと9条署名の訴えを行う予定です。

## ウソつき政治家辞めさせよう

【岐阜県／岐阜九条の会】 岐阜・九条の会は11月29日、一段と冷え込む中、名鉄岐阜駅前で244回目の「9の日」行動を実施し3000万人署名を呼びかけました。

世話人の林邦男さんは、「桜を見る会」で政治を私物化する安倍政権を批判し、「改憲発議をねらう安倍政権を絶対に許してはならない。戦争する国にさせないためにも、9条改憲反対の3000万人署名にご協力ください」と訴えました。

9人の参加者が「安倍改憲NO」「市民と野党は共闘を」のプラカードを身につけ、高校生など若者に「憲法ってなに？みんなが大切にされる社会を」のビラを配布。

世話人の青木真理さんが信号待ちをしていた男子高校生（17）と対話すると「学校で憲法を議論し、4分の3が改憲反対でした。戦争をしないと決めた憲法を変える必要はありません」。別の男子高校生（18）は「桜を見る会などに税金を使うのはやめ、社会保障にもっと使うべき」と署名。

自転車の女性（80）は「安倍首相、菅官房長官、内閣府の役人ら、誰がみてもウソだとわかりますよ。議員失格、早く辞めてほしい」と怒りをあらわにしました。

【和歌山県有田川町／金屋9条の会・きび9条の会】 金屋9条の会・きび9条の会は4年前の11月3日から毎月3日に、1

回も欠かさず有田川役場前信号でストリートアピールを行っています。今月で49回を迎え、延べ参加人数は1022名に上ります。毎回、道行く人たちが手を振ってくれ、元気をもらっています。地味な活動ですが、今後も続けていきたいと思います。（水野哲男事務局長「九条の会・わかやま」388）

## 「壊憲」への道私たちが終りに

【山形県／つるおか・たがわ九条の会】 つるおか・たがわ九条の会の総会と講演会が11月30日に鶴岡市で開かれ、110人が参加しました。

橘健司代表が「安倍政権による改憲を阻止するために、鶴岡・田川地区内での空白地域の一つひとつ組織をつくり広げていきましょう」とあいさつしました。

明日の自由を守る若手弁護士会共同代表の黒澤いつき氏が「憲法をめぐる情勢と課題」と題して講演。安倍首相や与党議員が「都道府県の6割以上が新規自衛隊員募集への協力を拒否」「憲法改正は他のいかなる課題よりも重要」などと、改憲をあおる発言を繰り返していると批判。「放送局に『桜を見る会』問題をもっと報道して」とファクスするなど、自分なりにできる日常不断の努力を広げることを強調し、政治への無関心が生んだ「壊憲」への道は、「私たちの時代で終わらせましょう」と訴えました。

## すでに行われている民間人「徴用」

【岐阜市／島中学校区九条の会】 岐阜市で1日、「自衛隊による民間船舶『徴用』の体制はどこまできているか」をテーマに学習会が開かれ、名古屋テレビ制作のドキ

コメント「防衛フェリー」を見て考えました。主催は島中学校区九条の会。

世話人の井川昌英さんが「自衛隊は安保法制で、海外派兵が可能となったが、戦車などを大量に運ぶ輸送船はどうなっているのか。考えてみよう」とあいさつしました。

「防衛フェリー」は、第2次世界大戦で旧日本軍が大量の民間船舶と船員を徴用し、民間船員の戦死者が6万人を超え、海軍兵士の2・5倍にものぼったことを告発。現在も、民間大型フェリーが自衛隊の戦車などを運び、演習に組み込まれている実態を紹介し、「予備自衛官補」いう名で、武器を持ち戦闘訓練までさせられていることを浮き彫りにしました。

参加者の野村容子さん（81）は「海軍の志願兵だった父が輸送船に乗り戦死したと母から聞いたが、民間船舶に乗って戦死したことがわかった」、他の参加者も「民間船舶が戦争に利用されていることを知り、恐ろしくなった」と語りました。

## いまコスタリカに学ぶ

【九条の会奈良県ネットワーク・国際法律家協会】 九条の会奈良県ネットワークと日本国際法律家協会は3日、コスタリカからロベルト・サモラ弁護士を迎え、奈良市内で講演会を開き、140人が参加しました。

サモラ氏は1949年に憲法で常備軍が廃止され、軍事費が教育や保健衛生に使われるようになり、コスタリカは中米でもっとも教育水準が高い国になったと説明。83年には、コスタリカ国内への米軍基地建設を拒否するために世界で初めてモンヘ大統領が「永世非武装中立」を宣言したことは、

人類の国際的な人権を考えるうえでもっとも偉大なことをしたと話しました。

サモラ氏は、03年にゴスタリカがアメリカのイラク派兵を支持したのは違憲だと一人で憲法法院に提訴。翌年勝訴し、有志連合からコスタリカの名前を消した経験を語り、「教育こそが平和の文化をもたらす教育が知識を増やし、知識は人々から事実や自由を奪い閉じ込めようとする恐怖を取り除くことができる」と話しました。

参加者から「9条を守ろうとがんばる日本の平和運動のアドバイス」を求められると、サモラ氏は「安倍首相の権力を崩すために、直接その政権をたたくなくても、立法権をきちんとさせ、日本に正義がないという状況を変えるために、石を一つひとつ積み上げるように努力することが大切」と話しました。

## 同性婚問題の考え方を整理

【東京都葛飾区／九条の会かなまち】 12月7日、九条の会かなまち13周年記念「2019 憲法9条を守る講演会」を開催し、80名強の参加でした。雨天で低温、人身事故で鉄道が一時ストップという悪条件の中、「チラシを見てきた」という飛び込み参加者がたくさんおられました。

PARC 共同代表の内田聖子さんは、ヨーロッパでは早くに水道民営化をしたが、今は再公営化の流れになっており、いま民営化に向かう日本は世界の流れに逆行している、安倍内閣のトップダウンで水や大学入試さえも民間大企業に売り渡している事等を話されました。

同性婚人権救済弁護団の熊澤美帆さん

からは、G7の中で日本だけが同性婚を認めていない事、各自治体の努力は色々出てきたが、国の法律として社会的な認知を得る必要がある事等を話されました。

同性婚訴訟原告の大江千束さんのお話で、オランダでは「結婚する」と友人に話すとき普通に「男と？女と？」と聞かれる、安倍内閣の「美しい国」は、父親が世帯主として存在を誇示している、等々LGBT・同性婚の問題が整理されました。

葛飾区では区議だったN国党の立花孝志氏が「子どもをアホみたいに産む民族は虐殺」と主張、現区議の鈴木信行氏は「(梅毒を持ち込んだのは)一番日本にきている支那人」と主張。葛飾選出の衆院議員平沢勝栄氏は「(LGBTについて)この人たちばかりになったらこの国はつぶれちゃう」と講演。こういう差別主義者をのさばらせてはならないと思います。

事前に講演会案内と共に3000万人署名用紙も郵送。当日集めた署名を持参された方もおり、32名分新たに集まりました。引き続き、3000万人署名を始め「改憲NO！」の運動を一層進めていく決意です。

(九条の会かなまち・事務局 米山傑)

## 戦車と子どもの写真掲載に抗議

### 【鳥取県湯梨浜町／湯梨浜9条の会】

湯梨浜町9条の会は11月25日、町の町報の表紙に幼児が乗った自衛隊の装甲車の写真が使われた問題で抗議しました。信原和裕子代表、福本厚子事務局長ら14人が町役場を訪れ、宮脇正道町長が対応しました。

表紙の写真は、町合併15周年記念式典に合わせて開催された商工フェスタ(10月6

日)での「働く車」コーナーに展示された自衛隊の装甲車で、銃座に子どもたちを乗せている場を担当職員が撮ったものです。

信原代表らは宮脇町長に対し、「自衛隊礼賛の度合いが突出している」と抗議し、町長の認識と経過説明を求めました。

宮脇町長は「自衛隊車両の展示は知らなかった。ゲラは見たが認識が甘かった」として、町報12月号に「戦時に兵器たるべき車両で遊ばれる子どもの写真を掲載したことは不適切」との記事の掲載を約束しました。

## 気づいた人がまず声をあげて

【映画人九条の会】結成15周年を迎えた映画人九条の会は11月29日、伊藤真弁護士による講演会「今こそ『憲法の力』をつけよう！安倍改憲に終止符を打つために」を東京で開き、45人が参加しました。

伊藤氏は、戦争法をはじめ改憲を加速させる近年の動きをたどり、9条へ自衛隊を明記することが集団的自衛権の無制限な行使を可能にし、徴兵制も現実となる危険性を強調。北朝鮮の脅威をあおって愛国心を戦争へと向かわせる方法はナチス・ドイツと同じだと批判。アーサー・ポンソンビー著『戦時の嘘』を紹介し、「戦争という手段では何も解決しません。言葉の巧みさにだまされないで、気付いた人から声をあげましょう。9条を守るために萎縮しないことが大切です」と呼びかけました。

高橋邦夫事務局長は「桜を見る会の件で安倍政権は連日、追及されているが、予断を許さない情勢。市民の運動で野党共闘を押しあげ、安倍政権を終わらせて改憲を阻止しましょう」と閉会あいさつしました。